

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年6月12日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年6月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【ガラスバッジ測定名簿記載誤りによる未測定の発生について】 2020年4月分ガラスバッジ(以下:GB)測定名簿を作成するにあたり、月の途中で従事者解除をした当社社員の使用終了日に誤りがあったため、正しい使用終了日に修正した際、修正する必要がない名前を誤って別の社員に変更してしまった。そのため、当該社員の名前が測定名簿から削除され、GBが測定されていないことが判明。今後、再発防止対策を検討予定。</p>	G II	6月8日
2	<p>【既設多核種除去設備(A)の処理水移送弁動作不良について】 既設多核種除去設備(A)運転中に、処理水移送弁が「全開」とならなかったため、運転中断信号が発信され、「運転」から「循環待機」となったことを確認。 当該弁の調査のため、単品での「全開」「全閉」動作確認及び運転状態での「全開」「全閉」動作確認を実施したが異常は確認されなかった。 一過性のもので判断し、念のためリミットスイッチの調整を実施した。 現在も既設多核種除去設備(A)運転中。</p>	G III	6月6日
3	<p>【既設多核種除去設備の逆洗ポンプ吸込弁動作不良について】 既設多核種除去設備逆洗ポンプ吸込弁において、当直員の操作時に「全開」「全閉」にならないことが判明。 開閉操作を数回繰り返したが改善しないことから、ゴミの噛み込み等が考えられる。 今後、点検修理予定。 現在、逆洗ポンプについては、予備機に切替えて問題のないことを確認。</p>	G III	6月9日
4	<p>【増設雑固体廃棄物焼却設備建屋での作業員の負傷について】 増設雑固体廃棄物焼却設備建屋において、ケーブル布設作業の作業員が作業エリアの屋外階段を降りる際に、最後の一段でバランスを崩し右足を負傷。 救急医療室にて、右足捻挫と診断を受け治療を受けた。 今後、再発防止策を検討。</p>	G III	6月10日